

KiKiの広場

2022年 5月 1日

cafe NO.139
KiKi



四季のある日本では、今1年で一番爽やかで緑の美しい季節です。コロナ禍の中で制限はあるものの、それぞれ身近なところで花や緑を楽しめるところはたくさんあります。その新緑の美しさを見るにつけ、ウクライナのことを考えずにはられません。争うことがどれほどの悲劇を生むかということに嫌というほど目の当たりにし、同じ地球に住み1つの太陽と月を違う場所で見ているだけで、これほどの違いがあるのかと、改めて辛く苦しく悲しく思います。ずっと同じことしか祈れませんが、心から笑顔になれる日が、1日も早く来ることを願うばかりです。

5月の予定

休館日	10日(火)
休業日	毎土・日・月曜日



「気まぐれシェフの KiKi オリジナルシフォンケーキ」

「苺ヨーグルトシフォンケーキ」・・・300円

しっとりフワフワで、ほんのり甘酸っぱいシフォンケーキです。さわやかな季節にぴったり。

今月のお気に入り・・・「爽やかな季節に読みたい絵本」

～「ママだいすき」「ぎゅっ」「おかあさんだいすきだよ」「たいせつなこと」「ねえだっこして」「そらとぶこいのぼり」などなど～



まどみちをさん作の「ママだいすき」は、いろいろな動物の親子のかけがえのない時間が、愛おしく描かれています。あたたかくやさしい色彩の挿絵にも癒されます。小さな子どもたちが大好きな絵本です。殆ど

「ぎゅっ」という言葉しかでてこない「ぎゅっ」は、みんなの「ぎゅっ」を見てだんだん寂しくなるおさるのジョジョの様子が切なくて愛らしくて、最後は出てきたみんなが「キュン」とする絵本です。



今月の本棚・・・「ウクライナの絵本」

～「てぶくろ」「びんぼうこびと」「アウさん、だいじょうぶ?」「わらのうし」「空とぶ船とゆかいななかま」などなど～



日本では57年前に発売され今でも子どもたちが大好きな「てぶくろ」は、ウクライナ民話から生まれた絵本です。その魅力は、何とんでも不思議な展開です。おじいさんが落としたてぶくろに、森の生き物たちが次々とやってきて、「いれて」「どうぞ」の繰り返しによって、「えっ? 大丈夫? 入るの?」とだんだん大きくなる動物も次々と入っていく展開に、ハラハラドキドキします。民族衣装を着た動物たちや、変化していくてぶくろの描写にも心を奪われます。姿や大きさの違う生き物たちが、当たり前のように仲良く過ごせるこのお話のように、世の中もそうなってほしいという願いを込めて、ウクライナの絵本を楽しみたいです。



ほっとフレイク

ヒストリアのアイドル!! その9 春休み編... 幼稚園の入園式は、4月9日だったのでそれまでの間、Kちゃんはお母さんのKさんと一緒に、今度はカフェのお手伝いをしてくれました。一緒に飲み物を運んだり、片付けをしたりと大忙しでした。1階にお客さまがおられない時は、イベントホールを独り占めです。声を出すとよく響くので、Kちゃんの歌声が受付まで聞こえてきます。チューリップの歌をよく歌っていました。「♪～ 咲いた～ 咲いた～ チューリップの花が～ な～らんだ～ な～らんだ～ あかしろきいろ～ な～らんだ～ な～らんだ～ あかしろきいろ～」

と、このフレーズが延々と続きます。(^^;) 時には、「あぁあぁ～ あぁあぁ～」と、「あ」だけの歌声も。仕事をしながら笑ってしまいました。そしてめでたく入園式を迎えました。桜の下で制服を着た笑顔のKちゃんの写真は、Kちゃんを年の離れた妹か姪のように可愛がっていた、ヒストリアを卒業した学生諸君にも送られ、それぞれみんな感慨深かったようです。Kちゃんを知っているお客さまも、「彼女がいなくなった～」と寂しがっておられます。みんなから愛されているKちゃんは、まさしくこれからも「ヒストリアのアイドル」です。ずっとずっと見守りたい!! と思います。(^^)/

